

なんたん健幸まちづくり — なんたん健幸都市宣言と今後の事業展開について

健幸まちづくり推進協議会での策定の経過

10月24日 委員の健幸都市ビジョンのまとめ

▼ 健幸都市宣言の3つの視点

- ① 心身の健康のために大切にしたいこと
- ② 幸せであるために大切にしたいこと
- ③ 南丹市ならではの健幸

2月20日 第2回協議会 草案の校正、校了

3月3日 市長に提言

健幸都市宣言の狙い

- ・健幸なまちの**ビジョンを示す**。
= **ソーシャル・マーケティング**を展開する。
- 宣言が市民の気持ちに届くことで、住民一人ひとりが自分自身が宣言に自分たちを投影する。
これにより、住民への健幸まちづくりの理念、行動指針への認知と理解を上げる。

提言を受けての市長指示
・効果的な広報をすること
・宣言をいかす事業を展開すること（例：宣言に着想を得た写真展など）

3月 採択、
健幸都市宣言



今後の事業展開（担当課案）

1. 広報 新聞等へのプレス発表、ホームページ、LINE、インスタグラム、文化観光大使（健幸部門）の任命
2. 観光写真コンテストと連携した健幸写真賞の創設（宣言のイメージに合う写真の賞を設ける）
3. 全庁体制での健幸まちづくりへの理解と推進
例 歩きたくなる道路、公園、田園風景づくりなど空間づくりなどの既存、新規の事業に健幸を意識、視点を取り入れた事業展開の考え方を浸透させる
☆全国都市緑化フェア、トレッキング、ヘルスツーリズム…



健幸まちづくり推進協議会からの提言いただき、今後の健幸まちづくりをすすめる。



研究・協議のために、今年度、視察費（バス使用料）を予算化しています。

南丹市健幸都市宣言
～住んでいるだけで健康で幸せになれるまち、
南丹市に暮らすわたしたちの物語～

かけがえのない人と
自然の恵みを味わうとき
季節の中を歩むとき
温かい話にはほほ笑むとき
今日も素敵なひとときを大事にする

わたしたちが
笑顔であるように
健やかであるように
心から大切な誰かを想い、ともに生きる日々を楽しむ

深い歴史と文化、豊かな緑に遊び
健康で幸せであるように明日を紡ぎ
わたしたちは健幸のまち「なんたん」に生きる

南丹市健幸都市宣言

～住んでいるだけで健康で幸せになれるまち、
南丹市に暮らすわたしたちの物語～

かけがえのない人と
自然の恵みを味わうとき
季節の中を歩むとき
温かい話にはほほ笑むとき
今日も素敵なひとときを大事にする

わたしたちが
笑顔であるように
健やかであるように
心から大切な誰かを想い、ともに生きる日々を楽しむ

深い歴史と文化、豊かな緑に遊び
健康で幸せであるように明日を紡ぎ
わたしたちは健幸のまち「なんたん」に生きる

【南丹市健幸まちづくり推進協議会の所掌事務】

住民の健康づくりと幸せなまちづくりのため総合的な方策を研究協議し、
地域の実情に応じた対策に関し市長に助言し、その推進を図る。

健幸都市宣言（ビジョン）の実現のための方策の助言のために、

先進地の視察を提案します。
(バスのレンタル費用を予算化しています。)

本日、決めておくこと

- 時期について
- 行先について

行先の選定：木村会長の提案

1. どのような健幸まちづくりを行うのかアイデアを出す
2. その取り組みをやっているところを探す